

第7回 沿岸観察会

平成 28年 7月 2日(土) 11:00 ~ 3日(日) 15:30

むつ市下北自然の家 ちぢり浜

- どんな
- ・磯での生き物の観察
 - ・海藻や海草の分布モニタリング
 - ・生き物の採集、サンプル処理
 - ・公開講座

スケジュール

午前：海況調査
午後：サンプル処理
夕方：公開講座 (7/2のみ)

磯の水族館から地球を探ろう!

対象

対象 小学生~大人 ※小学生は保護者同伴
※申込が多数になった場合には抽選を行い
当落のご連絡をいたします。

申込方法

はがき、FAXまたはEメールでお申込下さい。

- ※ 参加者全員分の氏名(ふりがな)・生年月日・年齢・性別・血液型・住所・電話番号・食物アレルギーの有無をご記入下さい。
(食物アレルギーがある方は、食品名もご記入下さい)
持ち物など詳細につきましては、申込み後にお知らせいたします。
- ※ 申込み頂いた個人情報につきましては、本イベント以外に使用いたしません。

参加料

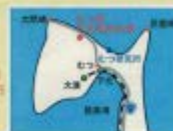
無料 市営泊代・食事は自己負担
【参加料】小学生~高校生 710円、大人 1,220円
【食事代】朝食 400円、昼食 400円、夕食 500円

申込期限

6月8日(水) 正午

問合せ・申込先

〒035-0022 むつ市大字関根字北関根 690 番地
海洋研究開発機構むつ研究所 研究推進グループ
電話：45-1049 FAX：45-1079
E-mail：mutsu-kansatsu@jamstec.go.jp



主催 / 国立研究開発法人海洋研究開発機構 むつ研究所

後援 / むつ市、むつ市教育委員会



海洋研究開発機構 (JAMSTEC)



7月10日
入場無料

市内から無料
送迎バス運行

くわしくはホームページを!!

<http://www.jamstec.go.jp/mutsu/>

むつ研究所 施設一般公開

平成28年7月10日(日) 10:00 ~ 16:00 (受付15:30終了)

むつ科学技術館開館 20 周年記念イベント合同開催 (無料開放)

地球環境写真展

～研究者からのメッセージ～



キッズパーク

ふしぎな探検クイズ



アクセス



施設所在地 (平日 9:00 ~ 17:30)
〒036-0002 青森県むつ市青森科学技術館 100 番地
国立研究開発法人海洋研究開発機構
むつ研究開発課
電話: 0175-25-2811 FAX: 0175-56-3059
e-mail: mtsuken@jamstec.go.jp



水中TVカメラロボットを
操縦しよう!



●実験教室 ●海底広域研究船「かいめい」模型展示
その他楽しいイベント多数開催

主催 国立研究開発法人海洋研究開発機構 後援 むつ市

協力 北海道大学大学院水産科学研究院、地方独立行政法人青森県産業技術センター
八戸市水産科学館マリエント、下北ジオパーク構想推進協議会、大畑町商工会青年部

このイベントは、海と日本プロジェクトの一環で実施しています。

海の宝をめぐる学びと体験 マリン・ラーニング

房総の海の森の物語 —海と日本プロジェクト—

講演会

海の物語 —君も海藻博士—

Story of the Sea, You are a Doctor of Seaweeds, too!

2016年7月18日(月・祝日 海の日) 13:00~

入場無料
 千葉県立館に
 千葉海苔を
 プレゼント!



島田博士

日本人は、古代から海とつながりのある生活を選び、ワカメ、ワカメ、タンポポ、コブなどの海藻は食材、神薬、薬、工業原材料としてあります。地球型生物である海藻は約35億年の進化を経て地球を支える生命として人と共に生きています。中心生物によって海の魅力を変える「海の宝アカデミックコンテスト」が全国で開催されるのは先立が、日本の食文化を変える海苔をテーマに、講演会とミニシアターを開催します。親子で、友だちと一緒で、青少年が主役!

千葉県立中央博物館
千葉海苔博士

プログラム

12:30 開場(受付)

13:00 開演・ごあいさつ

第1部 講演

13:15 やさしい海苔(ノリ)の生物学

講師者 正富(東京海洋大学名誉教授)

14:15 親子で学ぶ日本人の海藻利用 ―昔から食べてきた

海苔 廣子(千葉国立中央博物館・貝類研究員)

15:05 君も海藻博士 ―海苔、なんでも聞いてみよう

第2部 海風コンサート

15:30~16:30

久島美音(歌) 海、浜辺の歌、Stand Aloneほか

仁科 貴(エレクトーン) リトルマーメイド ほか

16:30 終了

千葉県立中央博物館

〒260-8692 千葉県野田市新野555-1 新野の森山荘内 TEL: 047-266-3111

■開館時間: 午前9時~午後4時30分(入館は午後3時まで) ■休館日: 7月5日、12日

■入館料: 一般500円(400円) 高校・大学等250円(200円) (こどもの日200円以上は別途料金)

○200円は入館無料です。中学生・小学生・学童未満は、保護者の方(年齢を問わず)を伴って入館可能です。特別観覧券は別途販売。観覧手帳をお持ちの方(子供観覧券)も割引があります。

http://www.chiba-museum.jp/NATURAL/

http://www.chiba-museum.jp/NATURAL/

2016年7月9日(土)~9月19日(日)

驚異の深海生物

-新たな深海世界へ-

観覧券

主催: 国立大学法人 北海道大学 共催: 千葉県立中央博物館

協賛: 日本比類学学会「日本海苔協会、日本海藻学会、千葉県海苔

共同開催

写真展「海藻」

The Seaweeds

開日: 2016年7月17日(日)~

18日(月・海の日)

時間: 9:00~16:30

場所: 千葉県立中央博物館・第一ホール

CHIBA

SINCE
1989

このイベントは、海と日本プロジェクトの一環で開催しています。

Copyright © 2016 Chiba Institute of Marine Sciences. All Rights Reserved.

海を味わおうin青森

～海と日本プロジェクト～

平成28年 7月23日(土)

場所 北の防人大湊「安渡館」 対象者 中高生(45人)
(むつ市桜木町3番1号)



北の防人大湊「安渡館」



バス① 14:15→むつバスターミナル
 14:20→田名部高校前
 14:25→下北駅前
 14:30→中央郵便局
 14:33→運動公園前
 14:35→むつ工業高校前
 14:40→大湊駅前
 14:50→安渡館

バス② 14:10→川内高校前
 14:50→安渡館



海の幸 下北プラッター

プログラム	15:00	15:10	15:35	休憩	16:20	17:10	17:55	18:00
	来賓挨拶 むつ市長	講演1 「ジオパークで下北を自慢しよう!」 下北ジオパーク構想推進協議会 むつ市ジオパーク推進員 平田 和彦	講演2 「むつ下北お魚自慢」 青森県西北地域県民局地域農林水産部録ヶ沢水産事務所 所長 奈良 賢博		講演3 「津軽海峡圏と真ん中、むつから発信する北日本食の成長戦略」 弘前大学食料科学研究所 特任教授 嵯峨 直恒	海の幸体験・試食会「海の幸 下北プラッター」	閉会挨拶	閉会

■主催/北海道大学大学院水産科学研究院
 ■協力/弘前大学食料科学研究所
 ■後援/むつ市・下北ジオパーク構想推進協議会・弘前大学社会連携推進機構
 ※このイベントは、海と日本プロジェクトの一環で実施しています。



函館

Hakodate Marine Festival 2016

マリンフェスティバル 「海と日本プロジェクト」 2016

試乗体験
ヨットに
乗ろう!

7/23(土)

異色作家に
よる講演会

7/24日

北の魚の
赤ちゃんと
海藻の世界

7/24日

はこだて
マリン
ラーニング

7/24日

[マーレ]
海を学ぶ
体験型
教育プログラム

7/24日

モノクラフト
マーケット

7/23(土)

タッチ
プール

7/23(土)
24日

官庁船
見学会

7/24日

7.23(土) 24(日)

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT

このイベントは、海と日本プロジェクトの一環で実施しています。



会場 函館市国際水産・海洋総合研究センター
緑の島時計台広場

無料シャトルバスをご利用ください

イベント期間中、下記のとおり無料シャトルバスを運行します。

7/23(土) 函館どつく前バス停～海洋研究センター

9:00～17:00まで20分間隔で運行

7/24(日) 函館駅前8番のりば～明治館前～緑の島～

函館どつく前バス停～海洋研究センター

9:00～17:00まで60分間隔で運行

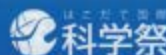


主催 一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構
函館市

共催 海の日を祝う会、北海道開発局函館港湾事務所、北海道運輸局函館運輸支局
北海道水産林務部水産局、地方独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究本部函館水産試験場

協力 北海道大学大学院水産科学研究院、函館プロジェクト株式会社、株式会社ノース技研

問合せ 0138-21-4700 (一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構)





北の魚の赤ちゃんと海藻の世界

移動水族館
期間展示

7月 17日~24日
Sunday Sunday

場所：函館市国営水産・海洋総合研究センター

見学・入館無料!!お気軽にどうぞ。

パネル説明 & バックヤードツアー

7月
17・18
Sunday Monday

当日随時受付

23・24
Saturday Sunday

11時~15時の間
1時間毎の開催

デジタル移動水族館

300トン試験水槽でのさかなの行動実験展示
はこだてのさかなと海藻のコラボ水槽 & パネル展示

海と日本プロジェクト - Sea Japan Project - 函館マリンフェスティバル 2018 「海と日本プロジェクト」

「北の魚の赤ちゃんと海藻の世界」パネル



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



株式会社 ノースグリーン



TECHONOMIC 株式会社 (PFI・環境ソリューション)



Presents

2016 MihoCup 7th



ウインドサーフィン&スタンドアップパドル競技大会

共催 「パドルボードで海の宝ものをさがそう
海と日本プロジェクト」



日程・場所	2016年8月6日(土) 静岡県清水市三保内浜海岸 8月7日(日) SUPkids 体験試乗会並びに水辺撮影会 「パドルボードで海の宝ものをさがそう」海と日本プロジェクト 中高生対象の『海の宝 アカデミックコンテスト2016』作品撮影・公募 *体験会や共催イベントへの参加・応募に関しては、無料です。
主催	MIHO CUP 実行委員会/三保水中生物研究会
共催	北海道大学
公認	SUPA(日本スタンドアップパドルボード協会)
協力	JWA(日本ウインドサーフィン協会)
後援	東海大学海洋学部
助成	日本財団
特別協賛	(株) TOKAI グループ/(株) ヤナセ静岡支店(メルセデスベンツ、スマート)/ 古庄自動車学校/FAI(株)/(有) 合志林工社/医療法人社団宝徳会
協賛	(株) ライテック/MANEUVERLINE/スターボードジャパン/JRS/シュリロトレーディングco, ltd/サーフトレーディング/ON's カンパニー/レッドアイアン//X-fly/ ナッシュジャパン /セドラスグループ /goseassurf/Halelaeロミロミマッサージ /ASUWAヨガスタジオ/(株) KAWASAKI モーターズジャパン
運営協力	PWC SERVICE nac./NPO 法人 seamac/club85/黒潮漕アウトリカヌークラブ

この夏、
札幌の中心に「海」を
学び、体感できる
空間が登場

「海」ってけっこう面白い!

入場・参加
無料

海の宝 マリンブルーフェスタ

in 札幌



7月28日(木) & 29日(金) 11:00 - 18:00
札幌駅西コンコースイベント広場

8月8日(月) & 9日(火) 11:00 - 19:00
札幌駅前通地下広場札幌駅前イベントスペース

- 「海」に関する写真展示**
魚や海藻、船舶など海に関する写真を展示。
- デジタル水族館**
函館市内でしか見ることができない「デジタル水族館」。札幌で初公開!
- はく製・模型展示**
北大水産学部が保有するはく製や模型を展示。

- マリン・カフェ** [当日会場へご連絡ください]
「海」をテーマとしたトークレクチャー、生物や化学、芸術などのお話を、コーヒーを片手に聞いてみませんか。
- マリン・ラーニング** [当日会場へご連絡ください]
入館に限りがあります。
魚類の解剖や「魚石」づくり、海藻などの観察会など、札幌で「海」を体感してみませんか。

中学生・高校生による「海」をテーマとしたプレゼンコンテスト

海の宝 アカデミック コンテスト 2016

URL <http://www.umicon.jp/>

- 「海」に関する写真展示**
魚や海藻、船舶など海に関する写真を展示。
- デジタル水族館&水槽展示**
函館市内でしか見ることができない「デジタル水族館」、札幌に再び現れる!
- はく製・模型展示**
北大水産学部が保有するはく製や模型を展示。
- 「海の宝アカデミックコンテスト」**
この秋に開催される「海の宝アカデミックコンテスト」の紹介や、応募サポーター・加賀城區貴さんによるトークレクチャーを開催。

お申込・お問合せ 北海道大学大学院水産科学研究院
マリンラーニング事務局
〒041-8611 北海道函館市港町 3-1-1
TEL: (0138) 40-8889/9944 FAX: (0138) 40-8889
MAIL: umicon@fish.hokudai.ac.jp



北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY THE MIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT このイベントは、「海と日本プロジェクト」の一環で実施しています

●主催：北海道大学大学院水産科学研究院 ●共催：北海道新聞社 ●後援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会 ●協成：公益財団法人 日本財団
お問合せ 〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 道新ビル北1乗館7階 (株)道新デジタルメディア / 011-210-6767 (平日 9:30~17:30)



同時開催

北の魚の赤ちゃんと海藻の世界

海の宝、海藻ファクトリー

函館空港

水槽・パネル展示

9月

3~10

Saturday Saturday

同時展示

「北の魚の赤ちゃんと海藻の世界」パネル
「海の宝、海藻ファクトリー」と日本プロジェクト」



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

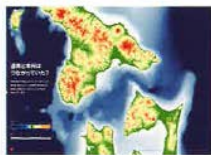


株式会社 ノースエッジ

海と日本
PROJECT

〒041-0192 北海道函館市平野1-1-1 TEL:0157-23-1111

13 ▶ 道南と本州はつながっていた？



津軽海峡の中央部には、東西に水深200～300メートルの谷が刻まれています。寒冷で大陸と北海道がつながっていた約2万年前も、津軽海峡は海だったと考えられています。

図説データ 0811 Dr.メッシーユ、米国データ JCO0500mのクラウ、画像制作/石井孝平

14 ▶ 海峡にはおいしさの回廊がある



津軽海峡の北と南では、共通する産物と、独自の産品がそれぞれあります。海峡圏のおいしさを楽しむために、ぐるりと回ってみたいかな。

写真/筑波大学 食料科学研究科

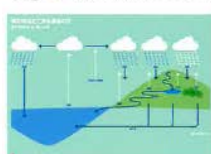
15 ▶ 言葉も海峡を渡った



道南には、明治以降、たくさんの人々が東北から移り住みました。函館周辺の言葉は、青森、岩手、秋田などの方言の影響を強く受けています。

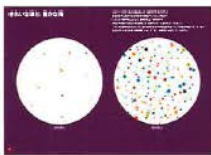
写真/札幌学院大学 言語学専攻

16 ▶ 海の水はどこから来るの？



海の水は、川が運びます。川の流れば、海から蒸発した水蒸気が雨や雪になるからはじまります。川は森と海をむすび、海と陸はひとつの環(わ)のようにつながっています。

17 ▶ きれいな海と、豊かな海



海や川の環境は、水質にかかわる数値だけでなく、生態系の複雑な関わりの中で考える時代になりました。見た目にはきれいな海は、必ずしも豊かな海ではありません。

18 ▶ 食べものが捨てられていく



食品廃棄のうち、まだ食べられるのに捨てられてしまうものを食品ロスといいます。日本の食品ロスは、年間約500～800万トンにのぼると考えられています。

写真/政府広報オンライン

19 ▶ マリンITの挑戦



限りある海の資源を、生態系をこわすことなく、また、働く人が無理することなく持続的に活用していくためには、漁業の効率を高めることが必要です。その取り組みのひとつが「マリンIT」です。

「マリンIT」の活用に関する海に広がる研究者の活動の様子。イラスト/坂本直

20 ▶ 海は函館の食のふるさと



海は海だけで成り立っているわけではありません。海は複雑な関わりの中にあり、この複雑さこそが、地域の食文化を形作っています。

はこだて国際科学祭2016 企画展



函館の食の基盤のひとつは、なんといっても海の幸です。対馬暖流が湧く日本海の恵み、そして津軽海峡や太平洋がもたらす新鮮なおいしさ。道南の食を、海からの視点を中心に考えてみましょう。

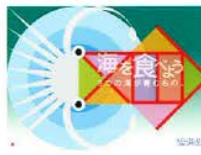
- 主催: サイエンス・サポート協議会
- 共催: 北海道立総合研究機構水産研究所
- 協賛: 函館市食文化局
- 協力: カンパニー(株)とあひだ(株)、インフォメーション(株)、函館市観光局(株)、(株)アール・エス・ビー・ホールディングス、シーエス(株)、食研(株)、食研(株)、(株)エス・エス・エス、函館市観光局(株)、(株)観光局
- 協力: 公益財団法人食文化振興会(社)



このイベントは、海と食プロジェクトの一環で実施しています。



01



はこだて国際科学祭2016 企画展
海を食べよう
3つの海が育むもの。
—海と日本プロジェクト—

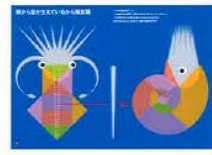
05 ▶ 北洋漁業の黄金時代



函館は1970年代なかごろまで、北洋漁業の基地として栄えました。1955年には船団の数が400隻を超え、漸化する漁船員や家族ら関係者は数万人にのぼりました。

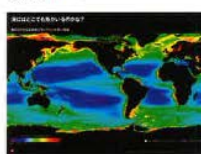
北洋漁業船団(1953年頃)/国際水産総合研究所

09 ▶ 頭から足が生えているから頭足類



イカの先相は貝でした。進化の過程で、貝殻を体の中に取り込んでいきました。イカの胴の中には透明な骨のようなものがあります。これが貝殻の痕跡です。

02 ▶ 海にはどこでも魚がいるのかな？



思われた漁場は、地球上で限られた場所にはありません。日本近海は世界有数の好漁場です。

AquaVision MODISによるクロコフィリン-aの濃度(14年間の観測値)
NASA Goddard Space Flight Center, Ocean Ecology Laboratory, Ocean Biology Processing Group, MODIS-Aqua, Chlorophyll Concentration data from 4 Jul 2002 to 31 May 2016.

06 ▶ 函館は、コンブとイカのまち



函館の漁業で生産額の最も大きな産物はコンブです。スルメイカ(真イカ)が次に続きます。函館は、コンブとイカのまちなのです。

データ/道庁社会経済開発課のデータ(2014)

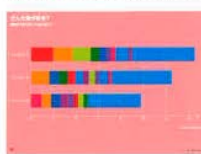
10 ▶ 縄文時代から魚好き



縄文遺跡から出土した人骨の研究によると、函館をふくむ北海道太平洋岸の人々は、海から食料を得る割合が高かったことがかかっています。

稲佐の丸/市立博物館文化遺産センター

03 ▶ どんな魚が好き？



日本人一人あたりの水産物年間消費量は減少を続けています。時代とともに好まれる魚の種類も変わりました。でも日本人がイカを好きなのは変わらないようです。

食糧統計(食料調査)に基づき水産庁作成

07 ▶ コンブはWashokuを支えている



ユネスコ無形文化遺産にも登録された「和食」を支えるのは、コンブです。函館のコンブは古代から関西などに運ばれ、和食の土台となる出汁(だし)の食材として使われてきました。

養老町の養老村/産地 稲佐の丸/ヤチダテ伊藤水産

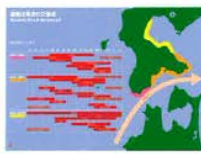
11 ▶ 海をおいしくする陸の幸



規模や量よりも上質な価値を追求することで、道南の農業と漁業は共通しています。ふたつの一次産業が、道南ならではのおいしさを産み出しています。

函館のワイナリー(良果園)の自家製ワイン(夏月ブランド)。(北山清)

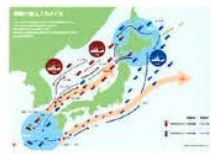
04 ▶ 道南は海流の交差点



道南(道南・稚山管内)には「日本海」と「津軽海峡」、「太平洋-道火河」の3つの海があります。北上する対馬暖流と南下してくる千島海流がぶつかる好漁場となっています。

道庁社会経済開発「海流の図説」(2014年)

08 ▶ 季節の旅人スルメイカ



スルメイカ(真イカ)の主なふるさは、日本海の南部や東シナ海です。スルメイカは1年という短い寿命をフルに使って、日本列島をめぐる壮大な旅をしています。

函館水産局「イカの不思議」北海道新聞社(2011年)より

12 ▶ ワインは言葉の海



「言葉祭」の醸造家佐々木洋子さんが、日本のアロマホイールを123種類の言葉に整理しました。

「言葉祭」の醸造家佐々木洋子さんが、日本のアロマホイールを123種類の言葉に整理しました。

参加費無料
各回定員 **30名**
要事前申し込み
先着順で受付

海や船と星を巡る

プラネタ リウム

～海と日本プロジェクト～

かつて海を渡った人々にとって、星空は命綱でした。

人はなぜ星を見上げるのか、

星空を巡る旅に一緒に出かけましょう。

宙先案内人・高橋真理子さんによる

プラネタリウム上映会です。

2016年

10月1日(土)

10時・11時・13時・14時・15時・16時・17時

7回上映 1回30分間程度

会場:函館プラネタリウム館(函館市亀田中野町62-2)



主催:サイエンス・サポート函館 / 共催:北海道大学大学院水産科学研究院 /

協力:NPO法人函館プラネタリウムの会

問い合わせ:サイエンス・サポート函館事務局(公立はこだて未来大学内) メール▶ info@sciencefestival.jp



海の宝、 海藻ファクトリー

函館市役所1Fロビー
水槽・パネル展示

10月
24～28
Monday Friday



〒040-8621 函館市本町1丁目1番1号 TEL:0158-221-1111



海の宝、 海藻ファクトリー

五稜郭タワーアトリウム
水槽・パネル展示

11月
7 ~ 13
Monday Sunday



©2017 NIPPON SUISAN KAISHA, LTD.

あなたにとって「海の宝」は、なんですか？

海の宝

アカデミック コンテスト

2 0 1 6

海、それは日本の心臓。2008年の夏から10年、新しい気風が吹いてきた。2016年夏、海と学び、海を感じることで、人類の未来にどうしたら海を愛護、愛しつづけていくのか、疑問を抱くのは当然のこと。

「海の宝アカデミックコンテスト2016」に先立ちこの夏、全国各地で海を学び、体感できるイベントを開催します。詳細はホームページで随時公開します。



「海の宝アカデミックコンテスト」とは、8枚組の電子紙芝居を通して海の素晴らしさを表現するプレゼンテーションコンテストです。

応募対象者
 全国の中高校生
 個人または団体で、ご応募ください
 7月19日(水)～9月15日(木)

募集作品
 海を表現したもの
 海に関する科学、芸術、文化、食、環境など
 優秀者には海に関するユニークな賞をご用意
 海の宝大賞、うみぼうず大賞、おにぎり大賞など

応募作品の中から
 10～15件の優秀作を表彰
 北海道函館市で11月13日(日)開催の
 「海の宝アカデミックコンテスト2016」
 発表会＆表彰式ご招待！

●すべての詳細はホームページでチェック！ ⇒ URL <http://www.umicon.jp/>

お申し込み・お問い合わせ 北海道大学大学院水産科学研究院 マリン・ラーニング事務局
 〒041-8611 北海道函館市函館3-1-1 TEL) (0138)40-8899/5544 FAX) (0138)40-8899 EMAIL)umicon@fish.hokudai.ac.jp



このイベントは、海と日本プロジェクトの一環で実施しています

海の宝アカデミックコンテスト2016

応募要項

**応募者
全員に記念品を進呈!!**
記念品は予告なく変更となる
場合があります。

● 応募期間

平成28年7月19日(火)～9月15日(木)当日消印有効

● 募集対象者

全国の中高校生対象

● 応募方法

HPから応募 (<http://www.umicon.jp/>) または CD および DVD
での郵送 ※郵送の場合、下記参加申込書にご記入の上、応募作品とともに送付願います。

● 応募形式

- スライド形式で1ファイル8枚以内：パワーポイント、PDFおよび各種画像 (ai、JPEG、PNG、BMP、TIFFなど)
- 各スライドのセリフや説明文(ワード文書)を添える
- HPからの応募は、合計20MB以内。20MB以上の作品は、CDまたはDVDで郵送

● 海にまつわるユニークな賞

● 海の宝大賞 ● うみぼうず大賞 ● おとひめ大賞 など

● 選考方法

【一次審査】
9月下旬(電子書類審査)選考結果は10月上旬に、申込書にご記入の住所宛へ郵送いたします。

【二次審査】(10～15件)
11月13日(日)(北海道函館市でのプレゼンテーション形式)

● プレゼンテーションおよび表彰式

発表者2名までと保護者(引率者)1名を、北海道函館市で行う
プレゼンテーションおよび表彰式にご招待します。

日時 平成28年11月13日(日)8時30分～12時00分

場所 函館市国際水産・海洋総合研究センター
(北海道函館市井天町20番5号)

応募先およびお問合せ

北海道大学大学院水産科学研究院
マリン・ラーニング事務局

〒041-8611 北海道函館市港町3丁目1番1号
TEL (0138)40-5544-8889(平日9時～17時) FAX (0138)40-8889
HP <http://www.umicon.jp/> E-mail umicon@fish.hokudai.ac.jp

「応募にあたっての注意事項」

下記要項をよく御確認の上、応募してください。

- 複数の作品を応募可です。
- 応募作品は、応募者及び応募団体の未発表オリジナル作品に限ります。
- 応募に関する、一切の費用については応募者の負担とします。

- 保護者または団体(学校)の指導者の同意のもと、応募してください。
- 応募作品は返却いたしません。
- 応募作品は第三者の著作権、商標権、パブリシティ、その他の権利を侵害しないものに限り、第三者の著作権など権利が発生する場合は、必ず権利者に承認を得たうえで応募してください。
- 万が一、第三者からの著作権侵害、商標権侵害などの主張がなされたとしても、主催者は一切の責任を負いません。
- 応募の負い、道徳がある場合、法律・条約などに違反している場合は、本注意事項の違反があると主催者が判断した場合は、受賞を取り消すことがあります。
- 応募の無効で、本応募要項に同意したものとみなします。

「個人情報保護について」

● 応募者の個人情報等は本コンテスト事務局のみで利用させていただきます。
● 本コンテスト以外の理由で個人情報を利用する場合には、事前に本人に承認を得ることとします。

個人応募が団体応募の
いずれかを○で囲んでください。

個人 団体

海の宝アカデミックコンテスト2016

応募申込書

作品の題名			学年	中学 高校	年生
氏名	ふりがな	指導者または 保護者名	ふりがな		
学校 団体名	ふりがな				
ご住所	〒 - - 北海道 府県				
電話番号	() -	e-mail			
何を 見て このイベントを 知りましたか?	ポスター・チラシ・インターネット・その他()				「応募にあたっての注意事項」に 同意しました。○で囲んでください。(はい)